



筑波大学
University of Tsukuba

日本の未来を担う、スポーツと健康のプロフェッショナルへ

人間総合科学学術院人間総合科学研究群

スポーツウエルネス学 学位プログラム

■博士前期課程

スポーツプロモーション分野

スポーツプロモーション領域
スポーツマネジメント領域

ヘルスプロモーション分野

ヘルスプロモーション領域
ストレスマネジメント領域

■博士後期課程

研究力とマネジメント力で
イノベーションを起こせ

スポーツウエルネス分野の
高度専門職業人を養成します!!

Graduate School of
Comprehensive Human Sciences
Degree Programs in
Comprehensive Human Sciences
Master's & Doctoral Program in
Sport and Wellness Promotion

スポーツウエルネス学学位プログラム博士前期課程

スポーツプロモーション分野

■スポーツプロモーション領域

スポーツプロモーション論、スポーツイベント論を中心に、スポーツ推進の理念、目的、内容、課題と方法について検討するとともに、必要な資源とシステムの開発やスポーツによる政治、経済、文化、ビジネス等の社会的プロモーション等について教育研究します。

高橋 義雄 准教授

■スポーツマネジメント領域

スポーツマネジメント論、高度競技スポーツマネジメント論を中心に、スポーツ愛好者組織とクラブマネジメント、スポーツマネジメントについて検討するとともに、国際競技力開発や普及振興のためのシステム編成とマネジメント等について教育研究します。

尾縣 貢 教授、山口 香 教授、安藤 梢 助教
和久 貴洋 教授(連携大学院)

ヘルスプロモーション分野

■ヘルスプロモーション領域

ヘルスプロモーション論、健康開発プログラム論を中心に、健康づくりのための政策課題と社会計画のデザイン、地域や学校におけるシステムの編成について検討するとともに、多様な社会的環境と生活スタイルに対応した健康開発プログラム等について教育研究します。

久野 諄也 教授、柴田 愛 准教授
清水 和弘 准教授(連携大学院)

■ストレスマネジメント領域

ストレスマネジメントシステム論、コミュニティメンタルヘルス論を中心に、健康行動としてのストレスマネジメントの在り方や技法とシステム化を検討するとともに、多様化するライフスタイルやライフステージに応じたメンタルヘルスの社会的決定要因を探索し、それを改善するためのマネジメントサイクルの回し方について教育研究します。

水上 勝義 教授、辻 大士 助教

学位プログラム基本理念

スポーツ・ヘルス プロモーション論概論【学位プログラム共通必修科目】

スポーツプロモーション分野

スポーツプロモーション領域

スポーツプロモーション論
スポーツイベント論

スポーツマネジメント領域

スポーツマネジメント論
高度競技マネジメント論

スポーツ推進に関する政策立案、資源開発、システム編成、組織マネジメントおよび競技力開発システム、マネジメントに関する能力の開発。

ヘルスプロモーション分野

ヘルスプロモーション領域

ヘルスプロモーション論
健康開発プログラム論

ストレスマネジメント領域

ストレスマネジメントシステム論
コミュニティメンタルヘルス論

健康支援政策およびプログラム開発、ストレスマネジメントとコミュニティメンタルヘルスのシステム編成および、技法に関する能力開発。

現場におけるバージョンアップあるいは新規事業開発や新規職域開拓等

自治体、地域、組織、企業、メディア等におけるスポーツ推進や健康づくり施策の牽引者となりうる高度な専門家養成に重点を置き、スポーツと健康の相乗効果を重視しながら、特にスポーツ振興を中心とするスポーツプロモーションと、健康づくりを中心とするヘルスプロモーションの2分野を設け、院生個人の現職経験を生かした専門的能力の開発を目指します。

前期課程願書受付

推薦入試(募集人員8名)

令和4年6月14日(火)～

- 資格審査受付期間 …… 令和4年6月 7 日(火)～6月11日(土)
- 入学願書受付期間 …… 令和4年6月14日(火)～6月25日(土)
- 入学試験 …………… 令和4年7月16日(土)
- 合格発表 …………… 令和4年8月 5 日(金)
- 入学期 …………… 令和5年4月

一般入試(募集人員16名)

令和4年7月5日(火)～

- 資格審査受付期間 …… 令和4年6月28日(火)～7月 2 日(土)
- 入学願書受付期間 …… 令和4年7月 5 日(火)～7月16日(土)
- 入学試験 …………… 令和4年 9 月3日(土)
- 合格発表 …………… 令和4年10月4日(火)
- 入学期 …………… 令和5年4月

本学位プログラムのめざすところ

少子高齢化、情報化、自由時間の増大等、社会は構造そのものをダイナミックに変化させ、それに伴い健やかな人生、豊かな交流、伸びやかな自己開発への希求から、国民生活におけるスポーツや健康の位置づけはますます大きくなってきました。当専攻は、こうした社会的要請に応えるために、主にスポーツ推進、健康づくり施策分野の現職者を対象に、スポーツと健康の社会・文化的資源の整備とともに、それらを最も有効に活用するシステムを開発し、自在に政策立案やマネジメントを展開していける高度な専門家を養成し、さらに専門家集団による我が国のスポーツ・健康の一層の発展に寄与することを目的に平成15(2003)年度に設立されました。2022年度には20期生をむかえ、修了生も400人を超えました。



関連科目 (筑波地区支援教員担当)

- スポーツプロモーションとビジネス(奇数年度開講)
- 健康増進基礎論特講
- コミュニティスポーツプロモーション論特講(偶数年度開講)
- トップアスリートのトレーニング
- 健康支援の理論と実践
- 生活機能増進法論特講
- スポーツプロモーション法制論特講(偶数年度開講)
- トップコーチング
- 健康社会論
- ヒューマン・ケア科学概論
- スポーツの倫理と教育(奇数年度開講)
- 生涯スポーツのトータルマネジメント
- スポーツ健康統計学特講
- 質的研究基礎論
- 高度競技マネジメント論実習
- 田嶋幸三 客員教授(公益財団法人 日本サッカー協会会長)
- スポーツ健康科学論Ⅰ・Ⅱ
- スポーツ、ヘルス各界で中心的に活躍されているプロフェッショナルによるトップセミナー、及び修了生によるオムニバス形式の講義

年間スケジュール(2学期制)

月	学期区分	授業時間	
		火～金曜日	土曜日
4月～7月	春 学期	第2時限	10:20～11:35
8月～9月	休み(夏)	第3時限	11:45～13:00
		第4時限	13:45～15:00
10月～1月	秋 学期	第5時限	15:10～16:25
		第6時限	16:35～17:50
2月～3月	休み(春)	第7時限	18:20～19:35
		第8時限	19:45～21:00

※原則として週2コマ(=1コマ75分×2)の授業を10週で2単位

■課程修了の主なスケジュール

1 年 次	4月	入学式・オリエンテーション／春学期授業開始
	8月～9月	休み(夏)
	10月	秋学期授業開始／学位論文中間発表会(運営・参加)
	2月	学位論文発表会(運営・参加)
2 年 次	2月～3月	休み(春)
	4月	オリエンテーション／春学期授業開始
	5月	「研究テーマ届」の提出
	8月～9月	休み(夏)
	10月	秋学期授業開始／学位論文中間発表会(発表)
	12月	「正式題目届」の提出
	1月	学位論文提出／口述試験
	2月	学位論文発表会(発表)
	2月～3月	休み(春)
	3月末	学位記授与式・修了

特徴とカリキュラム

- スポーツ・ヘルスプロモーションの政策立案
- システム編成マネジメント能力等の開発

これまでのスポーツと健康に関する専門家養成が、個人の指導を中心とする指導者養成に主眼を置いてきたのに対して、本学位プログラムでは地域や集団・組織におけるスポーツ推進と健康づくりに重点を置き、院生個人の現職経験を生かした高度な専門的能力の開発を目指します。

■履修と修了

2分野・4領域制をとり、スポーツ・健康両分野にまたがる専門的能力の開発とともに院生個人の専門性を尊重して実践的な教育研究活動を重視します。

課程修了には、原則として2年以上在籍し、専門・関連科目等を30単位以上修得するとともに、修士論文もしくは特定課題研究報告書を提出し合格することが求められます。修了者には、修士(スポーツウエルネス学)の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すると中学校・高等学校教諭専修免許状(保健体育)、同(保健)養護教諭専修免許状を申請できます。(ただし、1種免許状取得資格が必要。)

スポーツウエルネス学学位プログラム博士後期課程

社会的要請・課題等

スポーツ庁の設置や我が国の健康寿命延伸のために政府各機関、シンクタンク、競技団体、地方自治体等の今後の幹部候補生として、スポーツあるいはヘルスプロモーション分野の博士レベルの高度専門職業人の養成が急務となっています。

指導の特色

1人の学生に対して3名のアドバイザーグループ(本学位プログラム教員から2名、客員教員:メンター教員、研究指導教員など)を設置し、複数指導体制を整えています。また、必要に応じて外部有識者やOB・OG教員を招聘してアドバイスを受けることができるようになっています。入学から学位授与までのプロセスを明確にして、段階的な研究指導を実現しています。

人材養成目的

1) 博士レベルの高度な研究力を保有したうえで、2) イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力、を併せ持つ高度専門職業人を養成します。

育成される人材

- 本領域において、国際機関等のグローバルなレベルで日本を代表して調整を行える人材
- 政府及び関連機関、地方自治体等において、課題解決プロジェクトの推進リーダーを務める人材

修了生の活躍の場

政府各機関、関連シンクタンク、競技団体、地方自治体等の幹部もしくは幹部候補生として活躍することが期待されます。

2つの具体的課題等

- ①スポーツの国際競争力の向上(国際的な交渉に苦戦)
- ②スポーツによる健康寿命の延伸と社会保障費抑制への貢献

学位授与の方針

- 課題解決型プロジェクトワークの合格(マネジメント力の確認)
 - 博士論文の合格(研究力の確認)
 - 必要単位の取得(専門性の確認)
- 以上3つすべての要件を満たすことが学位取得には必要です。

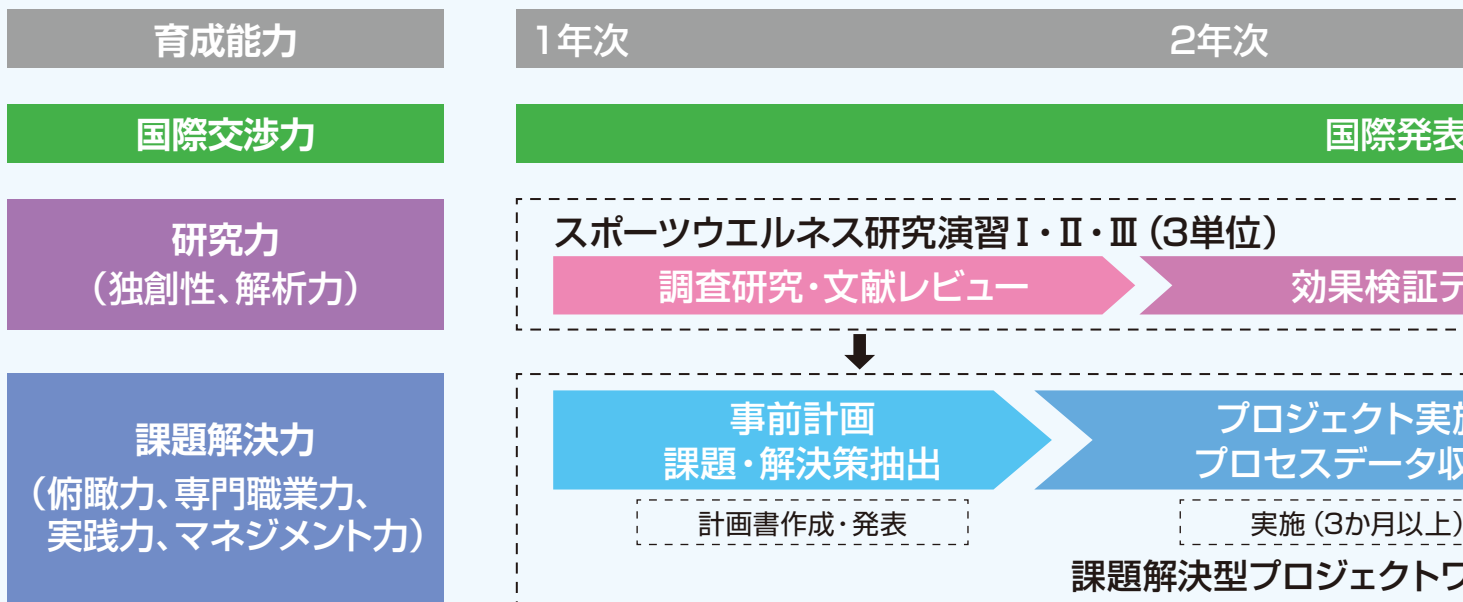
課程修了(学位)

博士(スポーツウエルネス学)

(名称の理由) スポーツプロモーションとヘルスプロモーション相互の合理的な関係による相乗的な効果を活かす人材であることを証明しています。

授業科目等の特色

東京キャンパスの社会人大学院のマネジメントに関連する授業科目、さらに独自の課題解決型プロジェクトワークを修了要件の単位としています。



教育課程編成・実施の方針

俯瞰的な視野と柔軟な思考力を有し、様々な領域の人材とチームを組んで課題を解決する能力及び最先端の研究技法を駆使して、グローバルなレベルで問題解決できる能力を育成するための教育課程を編成しています。

学位プログラムの運営体制

- 研究指導担当8名、授業担当2名、学外組織から客員教員を招聘して、研究指導は、主指導教員(1名)と学内外のメンター教員(2名以上)の複数指導体制となります。
- 学位プログラムリーダー、副リーダー、教育担当、学生担当等学位プログラム設立条件となる教員数以上を担当教員とする運営体制を構築しています。

年間スケジュール(2学期制)

月	学期区分	授業時間	
		火～金曜日	土曜日
4月～7月	春 学期	第2時限	10:20～11:35
8月～9月	休み(夏)	第3時限	11:45～13:00
		第4時限	13:45～15:00
10月～1月	秋 学期	第5時限	15:10～16:25
		第6時限	16:35～17:50
2月～3月	休み(春)	第7時限	18:20～19:35
		第8時限	19:45～21:00

※後期課程の演習はフレキシブルに指導教員と時間を決定します。

入学試験日程等

入試日程(募集人員3名)

資格審査受付期間

令和4年9月6日(火)～
9月10日(土)

入学願書受付期間

令和4年9月20日(火)～
10月1日(土)

入学試験

第1段階選抜合格発表

令和4年10月21日(金)

第2段階選抜(外国語試験・口述試験)

令和4年11月12日(土)

合格発表

令和4年12月2日(金)

※第2段階選抜配点:書類審査80点、外国語試験(TOEICスコアで代替)40点、口述試験80点

3年次

実地調査(1回以上)

データ収集・分析

発展研究

実施
収集

事後報告
プロセス評価

報告書作成・発表

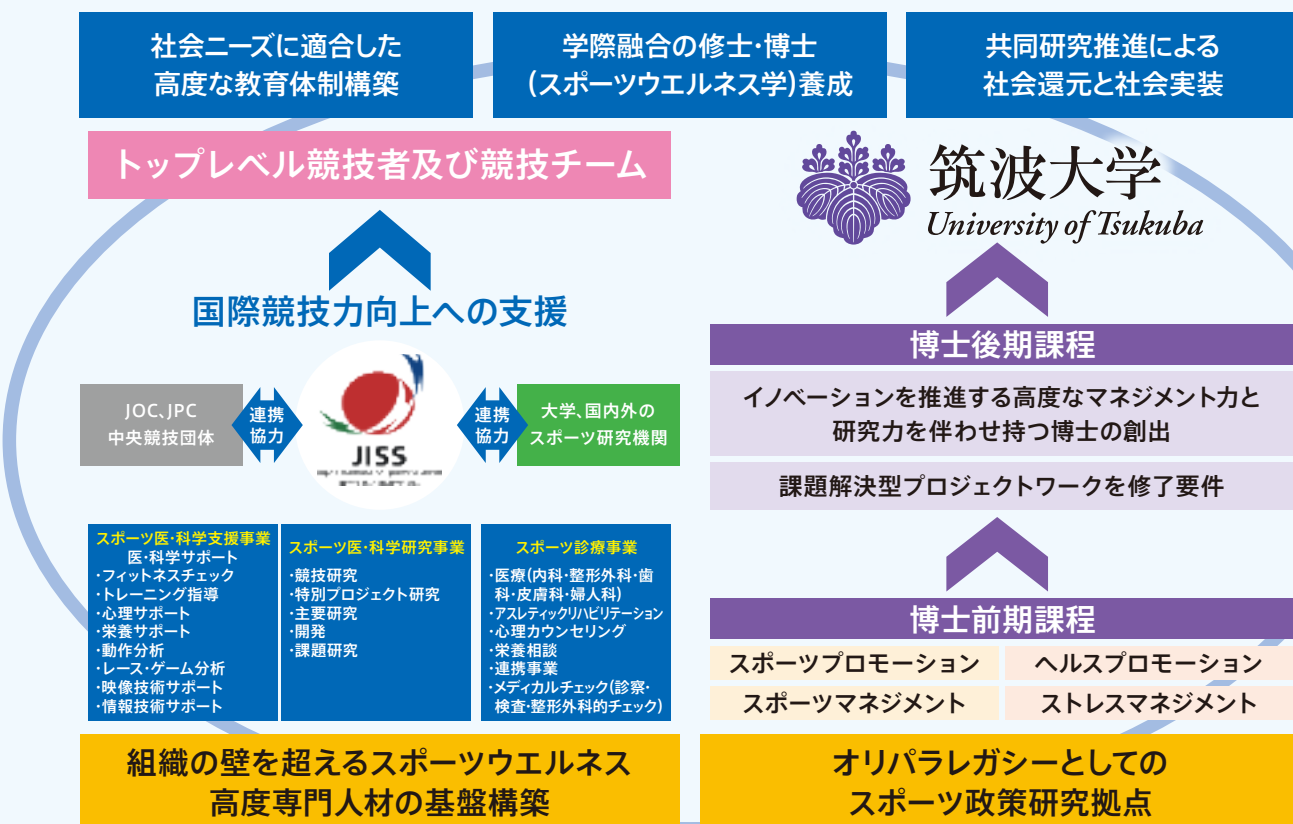
博士
論文

博士
学位
取得

ワークI・II(3単位)

スポーツウエルネス学学位プログラムをハブとした新しい挑戦

スポーツウエルネス分野における国立スポーツ科学センターとの連携大学院協定



スマートウエルネスシティ (SWC) 政策開発研究センターの設置



前期課程修了生の活躍

スポーツプロモーション分野

- 久保田 剛さん(7期生)
パナソニックスポーツ株式会社 代表取締役社長執行役員 CEO
- 上野 広治さん(9期生)
日本大学スポーツ科学部教授、公益財団法人日本水泳連盟副会長、公益財団法人日本オリンピック委員会理事
- 木野 彩子さん(12期生)
鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 国際地域文化コース 准教授
- 千田 健太さん(12期生)
慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科後期博士課程 大学院生
- 三宅 宏実さん(17期生)
いちご株式会社 ウェイトリフティングコーチ
- 石野 枝里子さん(18期生)
公益財団法人日本オリンピック委員会 拠点ネットワーク推進事業 アシスタントディレクター

ヘルスプロモーション分野

- 村松 邦子さん(5期生)
株式会社ウェルネス・システム研究所代表取締役、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(Bリーグ)理事
- 田中 弥生さん(5期生)
関東学院大学栄養学部長・教授
- 岡本 るみ子さん(13期生)
筑波大学 体育系 特任助教
- 坪内 美穂子さん(14期生)
美作大学食物学科 准教授
- 崔 元哲さん(15期生)
一般社団法人日本ホームヘルスコーチ協会 理事兼事務局長
- 渡辺 猛史さん(18期生)
アストラゼネカ株式会社 循環器・腎・代謝/消化器事業本部 ブランドマネジャー

後期課程 博士号取得者

令和3年度 博士号

木原 慎介

東京国際大学 人間社会学部 准教授

〈タイトル〉

アフターコロナを見据えた体育授業におけるICT活用の意義とその促進に関する研究

仲澤 眞

筑波大学 体育系 准教授

〈タイトル〉

プロスポーツにおけるファン・コミュニティに関する研究：Jリーグの取り組みを中心に



後期課程修了生の活躍

1期 塚尾 晶子さん

つくばウェルネスリサーチ 取締役

和久 貴洋さん

国立スポーツ科学センター副センター長、筑波大学 教授(連携大学院)

2期 浅川 伸さん

日本アンチドーピング機構

塚本 拓也さん

帝京大学 経済学部 准教授

3期 鬼村 優一さん

医療法人社団ゆみの 臨床研究支援部 課長

小坂 真さん

(株)アシックス インキュベーション部

教員研究分野一覧

教員名	【専門研究領域】 研究内容	教員名	【専門研究領域】 研究内容
 ○尾縣 貢 教授	①スポーツマネジメント ②スポーツコーチング ③トレーニング 競技者育成、指導者育成、トレーニングマネジメント、 運動部活動のマネジメント、競技団体マネジメント、 競技会マネジメント、タレント発掘、スポーツ政策	 ○久野 謙也 教授	①スポーツ・運動とヘルスプロモーション ②健康政策 中高齢者の健康増進、地域・職域における健康政策、生 活習慣病および介護予防、サルコペニアおよびサルコ ペニア肥満の予防、健康づくり無関心層の行動変容策 の開発、地域コミュニティ(ソーシャルキャピタル)と健 康、健康な都市づくり、ヘルスケアビジネス、人材育成
 ○山口 香 教授	①スポーツマネジメント ②スポーツコーチング 競技者育成、指導者育成、タレント発掘、一貫指導 (セカンドキャリアを含む)、女性スポーツ、競技団体 マネジメント	 ○水上 勝義 教授	①メンタルヘルス ②ストレスマネジメント ③認知症 職場、地域のメンタルヘルス支援、高齢者のメンタル ヘルス支援、認知症の診断・予防・進行抑制プログ ラムの開発
 ○高橋 義雄 准教授	①スポーツプロモーション ②スポーツイベントマ ネジメント ③スポーツ産業人材のマネジメント スポーツ競技団体のマネジメント、地域・企業におけ るスポーツ組織のマネジメント、スポーツ産業人材の マネジメント、スポーツイベントマネジメント、スポー ツ政策、スポーツマーケティング	 ○柴田 愛 准教授	①ヘルスプロモーション ②健康行動疫学 ③応用運動科学 中高年の身体活動・運動推進および座位行動改善に 関する研究、介護予防プログラム(特に、運動器の機 能向上、運動器疾患対策)の開発と評価、ソーシャル マーケティングに基づく効果的な健康行動普及手法 の開発
 安藤 梢 助教	①スポーツマネジメント ②トレーニングマネジメント データコーチング、競技力向上、タレント発掘、女子 スポーツ、セカンドキャリア	 辻 大士 助教	①メンタルヘルス ②運動疫学 ③健康格差と社会疫学 地域・集団レベル要因とメンタルヘルス、メンタルヘ ルスの社会的決定要因、地域づくり型介護予防の推 進、被災地の健康支援、大学生のスポーツ活動とメン タルヘルス
 ○和久 貴洋 教授(連携大学院)	①スポーツ政策 ②政策革新 ③スポーツ情報戦略 スポーツ参加促進政策、エリートスポーツ政策、国際 競技大会の招致・開催、国際スポーツ、スポーツ国際 協力、地方スポーツ政策、アスリートパスウェイ、ス ポーツ・インテグリティ、モニタリングと事業評価	 ○清水 和弘 准教授(連携大学院)	①コンディショニング ②スポーツ医学 ③運動免疫学 コンディショニング(体調管理方法、感染対策、リカバ リー、免疫機能評価)、ハイパフォーマンススポーツ研 究のヘルスケア領域における応用
田邊 解 准教授(体育系) SWC政策開発研究センター専任		清野 隼 助教(体育系) SWC政策開発研究センター専任	
		米納 弘渡 助教(体育系) SWC政策開発研究センター専任	

※博士前期課程:SWC政策開発研究センター教員を除くすべての教員が研究指導担当教員です。

※博士後期課程:出願にあたって志願者は必ず志望する教員と事前に連絡を取ってください。

教員の連絡先は https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/program/sport-wellness_doctor/ をご確認ください。○印の教員は研究指導担当教員です
が、令和5年入学者から尾縣貢教授、水上勝義教授は研究指導担当教員として指名することはできません。○印のない教員は研究指導担当教員には指名できません
が、研究内容についての助言を得ることができます。

お問い合わせ先

筑波大学社会人大学院等支援室

TEL.03-3942-6918 mail:businessentrance@un.tsukuba.ac.jp

入試情報・募集要項などはこちらから

<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp>